

特別寄稿

A病院看護職の看護研究に関する実態と 研究に対する意識

盛岡赤十字病院¹⁾ 岩手県立大学看護学部²⁾齊藤 美香¹⁾・菖蒲澤幸子¹⁾・佐々木 恵¹⁾・遠藤 良仁²⁾

キーワード：看護研究・臨床・研究意識・研究の意義

はじめに

日本看護協会の「看護者の倫理綱領」¹⁾では「看護者は、研究や実践を通して、専門的知識・技術の創造と開発に努め、看護学の発展に寄与する」ことが宣言されている。A病院では、看護研究委員会が中心となり、研究者への指導・支援を行っており、院内発表を経て院外への発表を推進している。A病院看護職の看護研究に対する意識調査は1996年実施以降行われておらず、現在の看護研究実施の実態と看護職が抱えている研究に対する意識を明らかにすることは、今後の研究委員会としての支援体制を検討する上で重要であると考えた。

I. 研究目的

A病院看護職における過去5年間の看護研究の実態と研究に対する意識を明らかにする。

II. 研究方法

1. 調査対象：A病院看護職員（師長・係長含む）
2. 調査期間：2014年7月4日～7月25日
3. 調査項目
 - 1) 対象者の背景：看護師経験年数、職位
 - 2) 臨床看護研究に携わった経験の有無
 - 3) 看護研究に対する意欲
 - 4) 研究実施の意義

4. 調査方法：質問紙調査、病棟毎配布回収の留め置き法
5. データの分析方法
ExcelおよびSPSS16.0Jを使用した。

III. 倫理的配慮

倫理的配慮：A病院倫理審査委員会の承認を得た。研究の目的、得られたデータは研究目的以外に使用しないこと、個人が特定されないこと、回答内容により不利益が生じないことを文書で説明した。質問紙は無記名とし、提出を以て同意とした。

IV. 結果

配布346名、回収293名（84.7%）、うち有効回答277名（80.0%）を調査対象とした。

1. 対象の背景
 - 1) 看護師経験年数：0～5年49名（17.7%）、6～10年46名（16.6%）、11～15年45名（16.2%）、16～20年43名（15.5%）、21年以上94名（33.9%）
 - 2) 職位：師長10名（3.6%）、係長17名（6.1%）、スタッフ250名（90.3%）
2. 看護研究の実態
 - 1) 研究経験：過去5年間の看護研究経験の有無（卒後3年目事例研究を除く、グループでの研究は含む）：あり142名（51.6%）、なし135名（48.4%）だった。
3. 過去5年間の看護研究経験と意欲との関連

看護研究に対する意欲については「是非したい」「したい」を積極群, 「すすめられたらしても良い」を中間群, 「あまりしたくない」「したくない」を消極群とした。全体では, 積極群が42名(15.2%), 中間群が52名(18.8%), 消極群が183名(66.1%)であった。過去5年間での研究経験がある人では, 積極群が29人(20.4%), 中間群が34人(23.9%), 消極群が79人(55.6%), χ^2 検定を行った結果, 研究経験があることと研究意欲の間では $\chi^2(2) = 14.27, p < .05$ で有意差が認められた。

4. 研究の意義

研究実施に意義があると全体では257名(92.8%)が回答した。研究経験ありでは132名(93.0%), 研究経験なしでは125名(92.6%)であった。どのような意義があるかでは, 「看護を振り返る」が199名(71.8%), 「ケアの質の向上」が192名(69.3%), 「新しい気づき」が153名(55.2%), 「問題解決」が133名(48.0%), 「自己啓発」が109名(39.4%)であった。

V. 考 察

半数以上の看護職が過去5年以内に看護研究に携わった経験があり, 研究経験がある人の方が研究実施に意欲を持っていることがわかった。研究経験と研究意欲の間には有意に関連があり, 研究を行った経験が研究実施の意欲につながると考えられた。研究経験の有無に関わらず, ほとんどの人が看護研究に意義を感じており, 臨床で働きながら研究を行っている実践者として「看護を振り返る」「ケアの質の向上」「新しい気づき」など, 日々の看護実践に直結した意義があると考えていることがわかった。

VI. 結 論

1. 看護職の半数以上が過去5年以内に研究を行っていた。
2. 過去5年以内に看護研究実施経験のある人の方が研究実施に意欲的であった。

3. 研究経験の有無に関わらず, ほとんどの看護職が看護研究に意義を感じており, その内容は看護実践に直結したものであった。

文 献

- 1) 日本看護協会(2003), 看護者の倫理綱領, 2015.3.5, <http://www.nurse.or.jp/nursing/practice/rinri/pdf/rinri.pdf>